

主の祈りの意味を理解する

皆さん、今日は主の祈りの意味について考えてみましょう。主の祈りは、カトリック教徒にとって非常に重要な祈りです。

主の祈りは、2つの部分に分けられていて、7つの請願が含まれています。最初の部分には、神を賛美するための祈りが含まれています。第二部には私たちの生活に実際に必要ない祈りが含まれています。

天におられる私達の父よ。私たちは主イエスを父と呼びます。これは、天と地の創造主、天の父である神と私達の密接な関係を示しています。神は大きな愛で人類を特別な子供として育てられました。

御名が聖とされますように。この文は、天と地の創造主である神を賛美することを意図しています。神様のお名前が、尊敬され、あがめられ、聖なるものと認識されますように、ということです。

御国が来ますように、御心が天に行われる通り、地にも行われますように。み国とは「神の国・愛の国」のことです。イエス様は、政治的な国、互いに争う国ではなく、愛に包まれたみ国が完成することを望んでいます。そして、その神様が望まれるように地上の私たちが生活をしていくことが出来ますように、という意味です。

私達の日ごとの糧を今日もお与えください。体の糧は「食」です。食は体を動かすパワーの源です。心の糧は「愛」です。愛は人を根源的に動かすパワーの源です。この両方が全世界の人々に行き渡りますように。

私達の罪をお許してください、私達も人をゆるします。神様は、悔い改めた者をゆるしてくださいます。私達は神の前ですべての間違いを正直に認めなければなりません。人間は、誰でも罪を犯してしまう弱い存在です。だから、神様は犯してしまった罪を悔い改めた人をゆるしてくれるのです。ゆるされた者としての感謝の気持ちを持って、私自身も他人をゆるす心を持つことができますように。

私達を誘惑に陥らせず、悪からお救いください。私たちは直面する様々な悩みに負けないように、辛いとき・苦しいときに愛の父である神様に目を向けます。本当の誘惑、それは、神様から目を背け、希望を失ってしまうことにあります。ですから、私達は神様のお導きに従順に従って生きなくてはなりません。

皆さん、主イエスが教えてくださったこの主の祈りを、心を込めて神様にささげましょう。「天におられる 私達の父よ、み名が聖とされますように。み国が来ますように。みこころが天に行われるとおりに、地にもおこなわれますように。私達の日ごとの糧を、今日もお与えください。私達の罪を おゆるしてください。私達も人をゆるします。私達を誘惑に おちいらせず、悪からお救いください」。アーメン